

## 特集 令和6年度

# 施政方針

2月22日に開かれた市議会3月定例会で園田市長は今年度の市政運営の方針を示す「施政方針」を発表しました。

●企画政策課(内線229)



## 去

る10月29日、市民の皆さまから、3期目となる市政の重責を託されることとなりました。平成27年の市長就任以来、「県下で唯一人口増加を続けている大村市だからこそ、我々が長崎県のトップランナーである。」という気概を持って「オールおむら」のまちづくりを推進してまいりました。

また、令和5年度は「始まりの年」と考え、10年、20年先の大村市をイメージしながらさまざまな施策を実施してまいりました。

## いよいよ人口10万人「さらさら」前進する年」に

令和6年度は、新編される第3水陸機動連隊の配備などにより、いよいよ人口10万人に到達する見込みです。また、本市独自のポータルアプリ「おむすび」や市内加盟店などで使用でき、地域経済の活性化に寄与

する地域通貨「ゆでび」の運用開始、新大村駅前の整備促進や野岳湖公園周辺の開発、新庁舎の実施設設計への着手など、令和5年度から「さらさら」に前進する年になると考えております。

令和6年度も、市議会ならびに市民の皆さまのご理解とご協力を賜りながら、市民の皆さまのしあわせと本市のさらなる発展に結び付く施策を推進してまいります。



▲施政方針の全文はこちら(市HP)

## 1 人を育むまち

### ▼子育て支援体制の充実

地域との一体的な子育て支援体制を充実させるため、こども未来部を3課体制とし、新たにこども支援課を設置します。また、地域で援助を受けたい人と援助を行いたい人をつなぐファミリー・サポート・センター事業を開始します。

### ▼ポータルアプリで子育て支援

ポータルアプリ「おむすび」で、子育てに必要な情報の通知や各種相談・イベントの予

約、母子健康手帳の機能などを備えた子育て支援サービスを開始します。

### ▼保護者の経済的負担軽減

保育料の引き下げを行います。また、第2子目の保育料については、引き続き無料化を実施します。

### ▼障がい児の保育体制の充実

教育・保育施設における障がい児の受け入れを促進するため、保育士等の人件費の補助について、補助基準額を引き上げます。

### ▼教育・保育施設の業務負担軽減

認可を受けている教育・保育施設の給付費に関する事務手続きについて、申請から精算まで一括して管理できる給付管理システムを導入します。

### ▼産後ケア事業の充実

産後の育児不安が大きい人が、助産師等が育児のサポートを行う産後ケア事業を利用できるように、提供体制の充実と利用者負担の軽減を図ります。

▼教育環境の整備

「自信をもたせる学習評価の実施」「ゼンダールズを目標とした中学校統一型制服の導入」「同水準の教育を受けるための学校規模の適正化」の3つのプロジェクトを柱とした、「ミライへつなぐ学校教育プロジェクト」を引き続き推進します。

▼給食の食材費高騰分を市が負担

教育・保育施設と小・中学校における給食費の食材費高騰分を市が負担することで、保護者の負担を変えずに安全・安心でおいしい給食を提供します。

▼部活動の地域移行

中学校の休日における部活動の地域移行について、令和8年度からの完全実施に向けて、計画的・段階的に環境整備を行います。

▼学校施設長寿命化計画

福重小学校の校舎と西大村中学校の体育館の建て替え、放虎原小学校の校舎の長寿命化改修工事を実施します。また、三城小学校の校舎の改築工事、旭が丘小学校の校舎と体育館の長寿命化改良工事、玖島中学校の校舎の大規模改造工事に向けた仮設校舎の建設に着手します。

▼不審者侵入防止対策

市内の全小中学校に、防犯カメラを計画的に設置します。

▼大学・学部等、高等教育機関の誘致

本市の教育力の向上や若者人口の増加・地域の活性化・人材育成などのため、引き続き誘致に取り組みます。

▼ミライコン

さらなる図書館機能の強化を図ります。

▼歴史資料館

ホームページのリニューアルを行い、所蔵する歴史資料のさらなる情報発信と利用者の活用促進を図ります。

▼伝統文化の保存継承

ユネスコ無形文化遺産の沖田踊・黒丸踊、国の重要無形民俗文化財である「大村の郡三踊（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）」の保存継承のため、各保存会の皆さまと協力し、国や県と連携して支援に取り組みます。

# 2

## 健康でいきいきと暮らせるまち

▼介護人材確保

介護人材確保・定着応援金を新設します。また、就職相談会や介護福祉士の資格取得のための研修を開催するとともに、市ホームページやSNSなどで、幅広い世代に向けて、介護の仕事の魅力を発信します。

▼楽しむ健康づくり

第3次健康おおむら21計画に基づき、県の健康アプリで貯まったポイントを地域通貨「ゆでぴ」に交換できる仕組みを作るなど、「楽しむ健康づくり」をサポートします。

▼自殺対策

第2期大村市自殺対策計画に基づき、自殺対策に関するネットワークの強化やゲートキーパーの養成、市民に対する正しい知識の普及啓発や相談窓口の周知を行います。

▼特定健診の受診推奨

特定健診の受診の大切さを周知するとともに、未受診の人へ受診勧奨を行います。40歳未満を対象としたU40健診についても周知や受診勧奨を行うことで、生活習慣病予防や早期発見・早期治療につなげます。

▼带状疱疹ワクチン費用の一部助成

50歳以上の市民を対象に带状疱疹の不活化ワクチンの接種費用の一部を助成します。

▼住み慣れた地域で生活し続けるために

地域包括ケアシステムをさらに充実させるとともに、生活支援コーディネーターを中心に、地域の特性を活かした支え合いの仕組みづくりを進めます。認知症になっても安心して住み慣れた地域での生活が続けられるように、国が推奨する認知症高齢者等を地域で支援する「チームオレンジ」の整備を推進します。また、成年後見制度などの啓発、相談対応、市民後見人の育成などに取り組む大村市成年後見支援センターの周知を図ります。

▼民生委員・児童委員の活動の充実

地域社会の複雑化・多様化によりニーズが高まっていることから、民生委員活動費を拡充します。

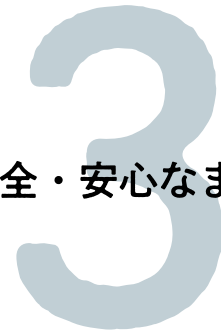
▼スポーツを通じた健康づくり

陸上競技場の全天候型トラックへの整備を含め、公認陸上競技場の認定取得に向けた改修工事を行うための実施設計を進めま

す。総合運動公園多目的広場では、多様なスポーツ利用を図り、多くの市民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整えることを目的に、人工芝による整備を行うこととしており、令和7年度からの着手を目指します。シーハットおおむらでは、老朽化しているバスケットゴールや各種トレーニング機器、新体操マットなどを更新し、さらなる利用促進を図ります。今後、スポーツ施設の整備を進め、市民のさらなる利用やスポーツ大会の開催、スポーツを通じた県内外との交流や関係人口の拡大などを促進し、市民の健康寿命の延伸や地域の活性化につなげます。

また、本市では卓球とソフトボール競技が開催される北部九州インターハイ(全国高等学校総合体育大会)と女子ゴルフ・女子バスケットボール・男子軟式野球競技が開催される日本スポーツマスターズ2024長崎大会の成功に向け、県や関係団体と連携しながら、全国各地から参加される選手や応援者、関係者の皆さまの心に残る大会となるよう取り組んでまいります。

## 安全・安心なまち



### ▼防犯対策

関係機関・団体と連携し、防災ラジオなどさまざまな媒体を通して広報活動の強化に努めます。夜間の道路や住宅地の暗い場所などへの防犯灯の設置に努めます。

### ▼交通事故対策・路面表示の整備

関係機関・団体と連携し、高齢者向け講習会や中・高校生に対する自転車安全利用講習会を実施します。また、大村市自転車活用推進計画に基づき、自転車の通行位置と方向を明示する青色の矢羽根マークなどの路面標示を整備するなど、警察などの関係機関と連携しながら安全で快適な自転車空間の整備を進めます。さらに、市道路側帯のカラー舗装化、通学路の歩道整備やガードパイプ、ポラード(車止め)、カーブミラーの設置を行います。

### ▼災害対策

消防団や消防署、自衛隊などの関係機関と連携し、災害に強い、安全・安心なまちづくりに向けた取り組みを進めます。

### ▼消防団員の確保

団員が活動しやすい環境を整えるとともに、勧誘活動の強化・月間の設置、各種イベントやさまざまな媒体を通じた広報活動などを行い、消防団への加入を促進します。

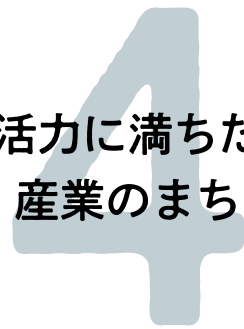
### ▼自主防災組織の活動促進

地域の防災力を高めるため、自主防災組織が防災訓練などを実施した際の交付金を新設します。

### ▼河川の防災機能強化

河川の改修工事などを行います。また、大村圏域における二級水系流域において、あらゆる関係者が協働して水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に進めます。大上戸川・内田川流域の浸水想定区域内において、洪水などで浸水した際の地面から水面までの高さを示す、洪水関連標識を設置します。

## 活力に満ちた産業のまち



### ▼企業誘致

県や関係団体などと十分に連携を図りながら、第2大村ハイテクパークの残り1区画への企業誘致に取り組んでいきます。

### ▼観光振興

おおむらの歴史や文化を活用した新しいス

トリーをスマートフォンアプリなどで提供するとともに、レンタサイクルなどの二次交通の調査研究を進め、観光客の周遊性の向上を目指します。また、本市の豊かな自然を活用したグリーン・ツーリズムなどの体験観光に加え、野岳湖公園周辺エリアにアウトドア・アクティビティ施設を整備し、本市を訪れる観光客数や観光消費額のさらなる向上を目指します。

### ▼地域おこし協力隊の採用

本市の魅力や価値の再発見、発信機能の強化を行い、移住定住の促進や地域の活性化、関係人口の創出などにつなげます。

### ▼農業

目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の策定や農業経営収入保険制度への加入促進支援、有害鳥獣捕獲従事者への捕獲報奨金においてインセンティブ制度(加算)の実施などを行うことで、農業者の就業意欲の維持や農地の保全につなげます。また、農繁期の労働力不足の解消や障がいがある人の就業機会の確保を目的として、農福連携を推進します。

### ▼畜産業

肉用牛繁殖農家や酪農家の飼育経費の削減や優良な肉用牛・乳用牛の育成などに取組み、老朽化した施設などの補修・改修を進め、公共牧場の有効利用を促し、効果的で安定的な運用を図ります。畜産ワラスターを軸とした地域一体となつて行う収益力・生産基盤強化の取り組みを支援し、畜産農家の経営安定を図ります。

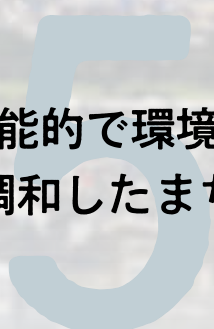
### ▼水産業

市内水産物の地産地消や販路拡大を目的として、水揚げされた水産物を小・中学校の学校給食用の食材として提供するため、本市・漁業者・事業者などで組織された「地域水産物活用推進協議会」に対し、補助を行います。漁業者の安全な就業環境を創出するため、東浦漁港と松原漁港の施設整備に伴う調査や設計に着手します。

### ▼林業

森林の適正な管理・活用のため、森林環境譲与税を活用し、森林所有者への意向調査、森林整備や森林施業のための人材育成を継続するとともに、新庁舎などの公共施設への木材利用の促進や森林の持つ公益的機能の普及啓発に取り組めます。

## 機能的で環境と調和したまち



### ▼新幹線を活かしたまちづくり

九州新幹線西九州ルートの新線フル規格化の早期実現と新幹線を活かしたまちづくりの推進を官民一体で進めます。令和7年春までの全区画完成に向けて進む、新大村駅の商業施設などの民間開発にあわせて、「くろろ」と賑わいのある「公園整備を進めます。

▼大村版Massの構築

多様な移動サービスに関する情報を一元的・総合的に案内するシステム大村版Massを構築し、段階的に機能を拡充することで、来訪者はもちろん、市民の移動における利便性向上を目指します。

▼国道34号の整備・道路拡幅・交通渋滞解消への取り組み

国道34号について、諫早市と共に国への協力体制を整え、整備促進に向けて取り組みます。空港南口交差点～水主町交差点の大村拡幅の残り約480mについては、着々と整備が進められています。慢性的な交通渋滞が発生している桜馬場交差点には左折専用レーンが設置されました。引き続き関係機関と連携し、渋滞解消と交通安全対策に向けて取り組みます。

▼幹線道路の整備・新規道路の実現に向けて

長崎空港連絡道路や東彼杵道路などの重要な幹線道路について、国や県と一体となって整備手法の研究や整備促進を図ります。都市計画道路(仮称)鬼橋坂口線は新規路線として都市計画決定や事業認可などを目指します。道路整備に併せて、都市計画マスタープラン、立地適正化計画や用途地域の見直しを行い、新たな商業施設や企業誘致を行います。そのほか大村インターバス停のバリアフリー化に向けた調査を行います。

▼野岳湖公園のリニューアル

第1次大村市アウトドア・パークデザインに基づき、野岳湖公園のリニューアルに向けた実施計画の策定に着手します。

▼大村公園内の玖島城跡石垣

石垣の一部が崩落する危険性が高くなっていくことから、石垣の保全整備の方向性や安全対策の方法について、検討を進めます。また、地域固有の貴重な歴史遺産としての活用や市民参加型の応援プロジェクトの展開など、新たな観光価値の創出についても検討を進めます。

▼ゼロカーボンシティおおむらの推進

ごみの減量化や資源の循環、大村湾SDGプロジェクトの推進、公共施設へのEV充電器の設置や公用車の電気自動車の導入などの環境施策を進めます。

▼市民大清掃

参加した市民に地域通貨を付与することで、衛生環境や環境美化意識の向上を目指すとともに、市民参加型のまちづくりを推進します。

▼廃棄物処理施設の検討

ごみ処理施設の建て替えに向けて準備を進めます。また、釜川内地区の旧一般廃棄物最終処分場跡地の公園整備に向けた準備を進めます。さらに、老朽化しているし尿処理施設について、大村浄水管理センター内へのし尿等受入施設の建設工事に着手します。

▼動物愛護の拠点へ

建設が決定している長崎県動物愛護管理センター(仮称)が市民・県民が気軽に立ち寄ることができる動物愛護の拠点となるように、県に要望していきます。野良猫の不妊・去勢手術の助成を実施し、地域の生活環境を保全し、殺処分を減らすとともに、市民の動物愛護意識の向上を図ります。

# 持続可能な行財政運営と市民協働の推進

▼町内会活動・行政委員活動

町内会加入率の向上や地域コミュニティの活性化につながる取り組みを推進するとともに、官公庁や企業などに対する町内会加入促進の協力依頼を行います。町内会長会連合会や関係機関と協力し、町内会活動を支援する条例の制定に向けて取り組みます。また、行政委員と市民とのよりよいパートナーシップの構築と協働のまちづくりの推進を図るため、行政委員の報償金を拡充します。

▼地域げんき交付金の拡充

市内でのにぎわいづくりと魅力あるまちづくりに寄与する自主的な活動を応援します。

▼おおむら夏越まつり

経年劣化した設備などの更新費用を助成します。

▼モーターボート競走事業

7月にSGオーシャンカップを開催するほか、ミッドナイトレースを9節間に拡大するとともに、3月下旬に開設のチケツトショップ諫早によって、さらなる売上・収益増を図ります。また、Grunt(グリーン)おおむらを活用したボルダリングやスケートボードの公式大会の誘致やeスポーツなどの各種イベントを開催し、交流人口の拡大につなげます。さらに、ナイター電力の三分の一相当を賄う太陽光発電設備を設置するなど、カーボンニュートラルの取り組みも進めます。

▼個人版ふるさと納税

業務委託する民間事業所や地元事業所と連携しながら、新たな返礼品の開発などに取り組みます。大村の魅力発信を強化し、寄附金の増額を目指します。

▼本人通知制度の導入

戸籍などの証明書の不正請求や不正取得を防止するため、第三者や代理人に交付した場合、その事実を本人へ通知します。

▼新庁舎などの施設整備

基本設計の策定や実施設計の着手、地質調査、測量設計などを行います。また、新たなプールの建設に向けた基本構想を策定するとともに、森園公園のリニューアルについて検討します。そのほか新たな文化ホール、体育館、武道館の具体的な整備の方向性を決定します。

▼ポータルアプリの活用

ポータルアプリ「おおむらび」に公共施設の予約機能を加えるなどさまざまな機能を拡充していくとともに、地域通貨「ゆでぴ」のポイント付与を充実させることで、地域経済の活性化と市民参加型まちづくりを推進します。

▼本人通知制度の導入

戸籍などの証明書の不正請求や不正取得を防止するため、第三者や代理人に交付した場合、その事実を本人へ通知します。